

2021年 6月 9日

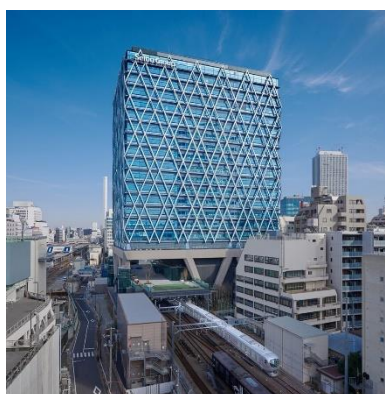
 日本ピーマック株式会社

令和2年度 公益財団法人空気調和・衛生工学会 第59回学会賞にて技術賞を受賞

西武ホールディングス本社機能を有する【ダイヤゲート池袋】に採用いただきました弊社製品が、空気調和・衛生工学会技術賞を受賞いたしました。

製品の特長は、従来型の床置型ウォールスルーユニット(WTU)をベースに進化させ、排熱回収が可能な新たなWTUとして開発。室外熱交換器に室温空気を通すことにより従来のWTUよりもエネルギー消費効率を向上させ、ペリメータ廻りの快適性と空気質の向上を実現しました。また、外気を取り込むことが可能なため、災害時の給気にも対応した製品となっております。

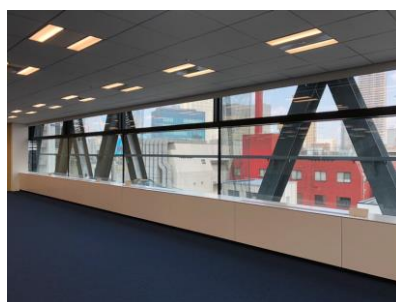
製品に関するお問い合わせにつきましては、弊社営業担当までお願いいたします。



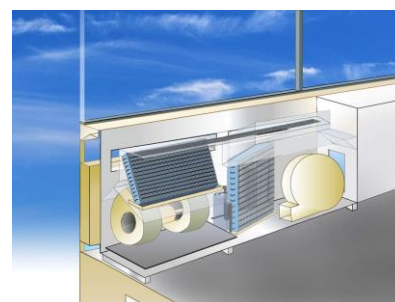
ペリメータ空調機として500台以上納入



ペリカウンターとWTU納まり



内観 (ペリメータ)



WTU 内部構造イメージ

◆第59回学会賞技術賞の掲載はこちら(公益社団法人空気調和・衛生工学会外部リンク)

<http://www.shasej.org/award/award2021/houkoku/gijutsu2021.pdf>

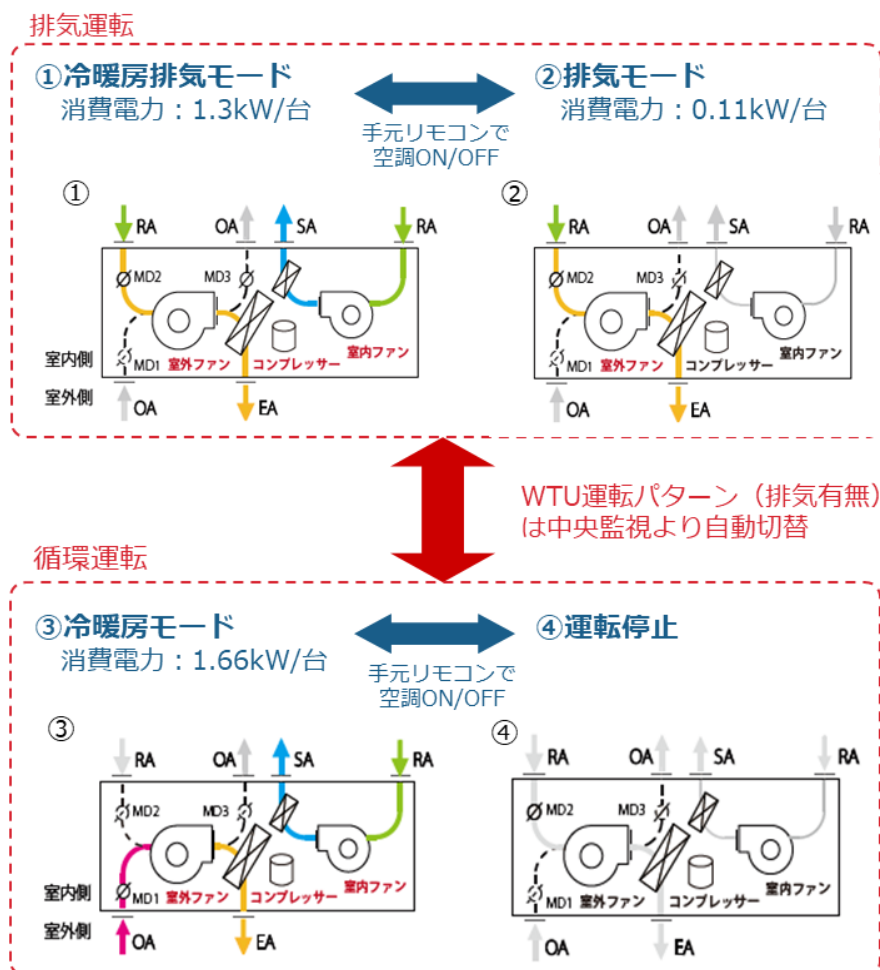
◆2020年度技術賞審査講評はこちら(公益社団法人空気調和・衛生工学会外部リンク)

<http://www.shasej.org/award/award2021/suisenbun/g3.pdf>

◆WTUの運転モードの概要

WTUの運転パターンは「排気運転」と「循環運転」大きく2種類あります。「排気運転」は室外ファンにて室内空気の排気を行うため、室内のCO₂濃度に応じた台数制御や、外気冷房・自然通風時に活用します。

執務者は「排気運転」と「循環運転」によらず、手元リモコンで空調の発停・操作が可能です。WTU一台ごとにペリカウンター設置のリモコンにより冷暖房の発停・切替、風量調節、温度設定ができます。



◆ペリメータ断面図

